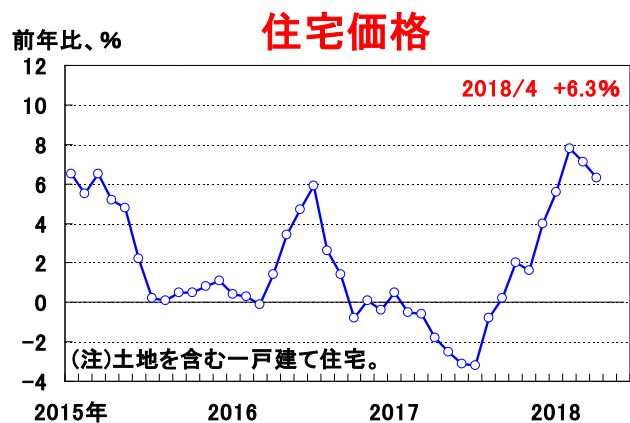
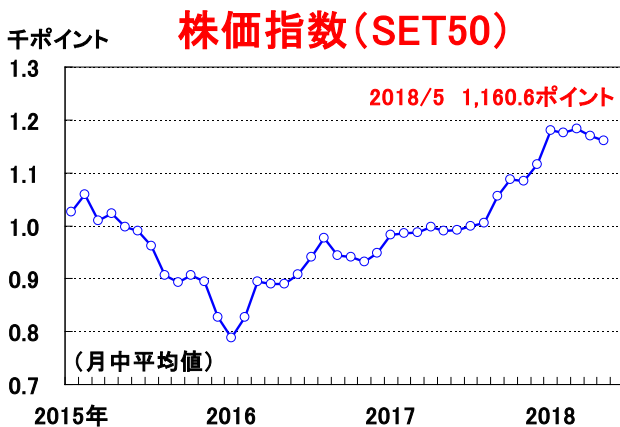
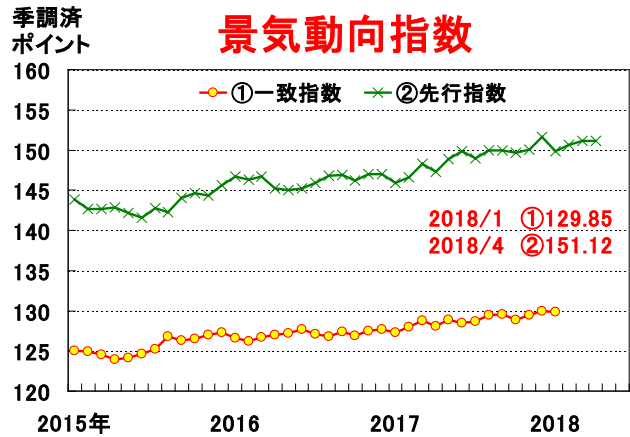
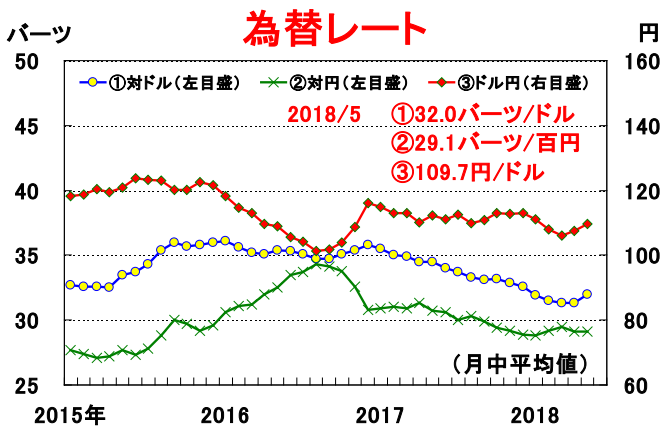
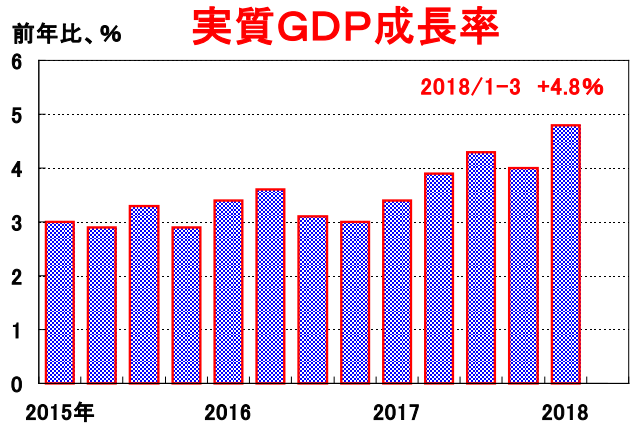
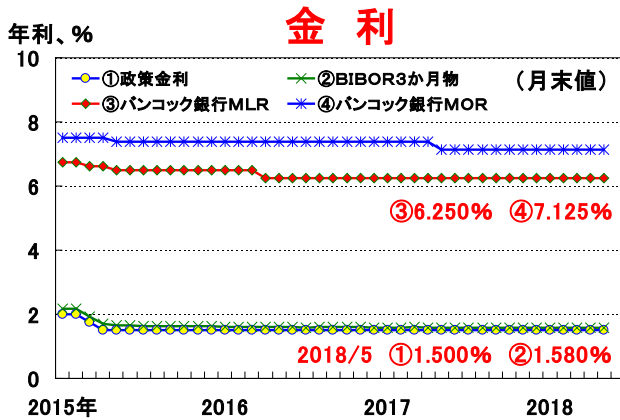


グラフで見るタイ経済 2018年6月号(No. 108)

タイ景気は緩やかな回復基調で推移している。4月の経済指標をみると、個人消費指数は前月比+1.7%と、耐久財消費などの堅調な増加を受けて、4か月ぶりの高水準となった。企業部門では、輸出が前年比+12.3%と中国向けの復調などにより、増勢が強まった。また、主力産業の自動車の生産台数が同+11.9%と、国内販売の堅調な増加を背景に、伸びが前月を上回った。こうした中、民間投資指数は前月比+2.4%と上昇し、11か月ぶりの高水準となった。5月の企業景況指数は51.5と中立水準の50を上回り、企業マインドも足元で改善している。



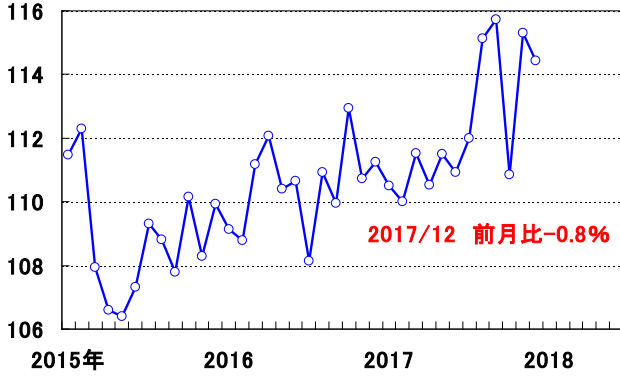
【今月のトピック: 1~3月期は5年ぶりの高成長を記録】 タイの1~3月期の実質GDPは前年比4.8%と、5年ぶりの高い伸びを記録した。高成長の主たる牽引役は輸出である。地域別の輸出動向をみると中国向けが低迷したものの、アセアン諸国向けやインド向けが大幅に増加した。タイ政府は輸出に比べると勢いの劣る内需をテコ入れするため、インフラ投資の拡充に注力している。1~3月期の実績が当初の想定を上回ったため、タイ政府の統計当局は、2018年の経済成長率の見通しを3か月前に公表した3.6~4.6%から、4.2~4.7%へ上方修正した。

(出所) タイ中央銀行、タイ国家経済社会開発委員会 (NESDB)、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

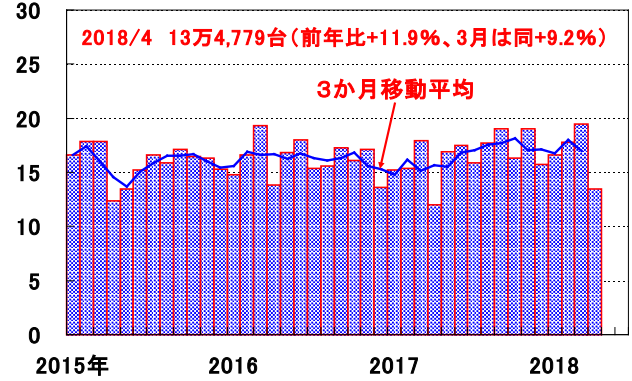
季調済
2000年=100

工業生産指数

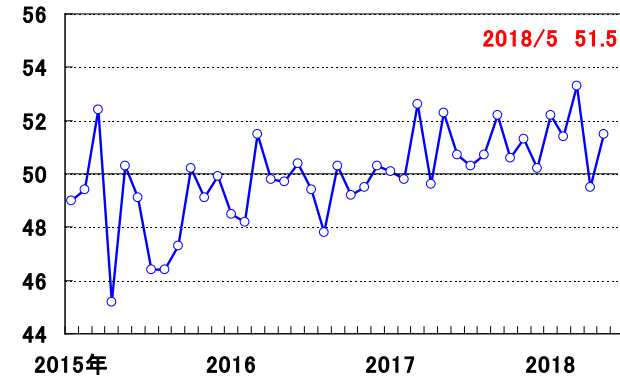


万台

自動車生産台数

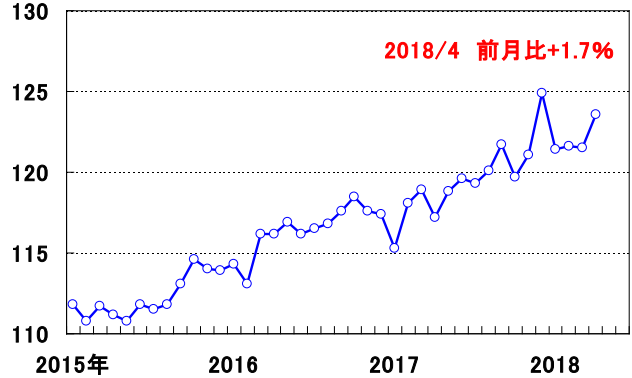


中立水準=50 企業景況指数(BSI)



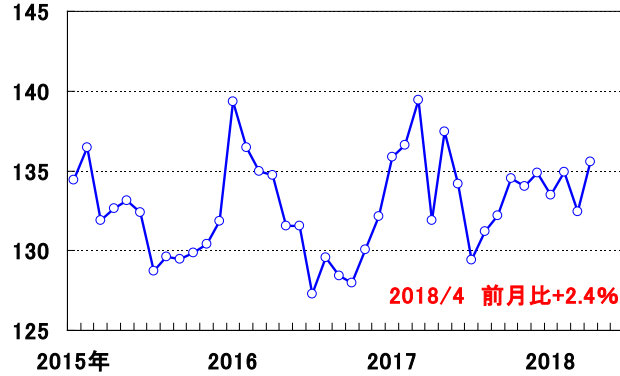
季調済
2000年=100

個人消費指数



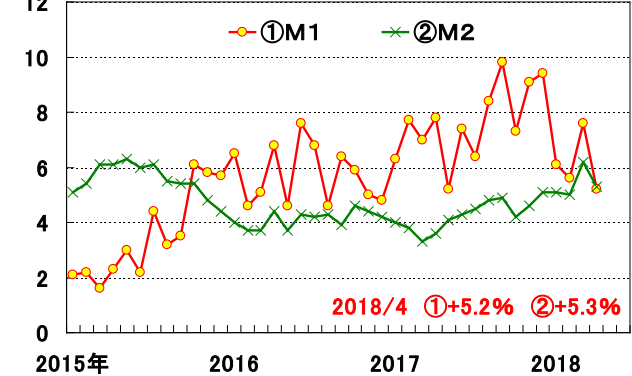
季調済
2010年=100

民間投資指数



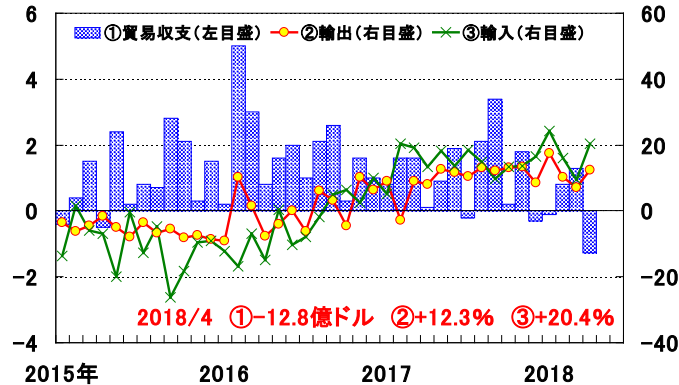
前年比、%

マネーサプライ



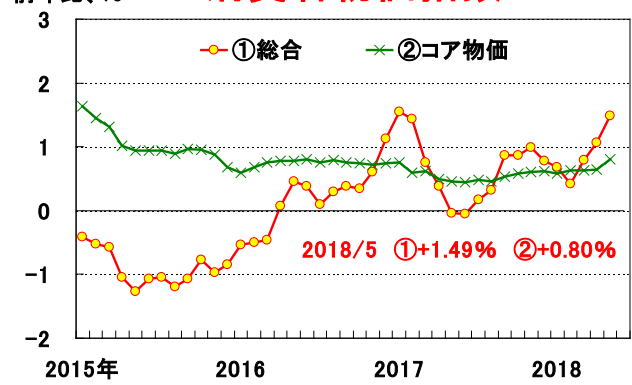
10億ドル

貿易収支



前年比、%

消費者物価指数



(出所) タイ工業省、タイ中央銀行、タイ国家統計局、タイ工業連盟 (FTI)

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用にはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。